

和光の緑と湧き水だより 白子川水辺環境調べ Verda117号

NPO 法人 和光・緑と湧き水の会 まとめ 代表理事 高橋絹世

2012年7月28日(土)9時半～11時 水辺に降りられる白子川水辺再生地を活用して、ボランティア体験の参加者5名の中学生と「白子川環境調べと清掃」を行いました。再生地の広場は、ほとんど樹木が少なく木陰もないので、真夏の日中は危険でしょうが、水辺には対岸の斜面林の木で日陰になります。生き物調べ、水質調べをし、今後の活用に向けた活動としてのステップとなりました。川の水辺の水温26度、湧き水の水辺水温は18度、見た目は同じでも、湧き水の力大です。生き物も沢山見つけました。カワセミが川に沿って3度飛ぶのが見えました。このような機会を増やしていきたいと思います。参加中学生5名、湧き水の会8名 ご協力有り難うございました。



白子川水辺で環境調べ



川の水質や生き物探し



湧水池も同様の生き物、水質調べ



温暖化を示す南方系の蝶
ナガサキアゲハ

ヌマエビ多数、ザリガニの稚魚も入っている。カワニナは約3cm大が多い。



生き物探しは面白い



水質調査の測定とその意味について説明



最後に生き物を川に帰す

今後の白子川水辺利用のためのメモ

1. 湧水池はアオミドロが多い。皆で藻つ刈りをすると良いのではないかな。生き物が棲みやすくなる。
2. 外来植物が多く繁茂している。水辺にマコモ等を植えて季節の行事に活用したい。
3. ヌマエビに混じって、小さなザリガニが見える。繁殖力が強くザリガニが増えそう。対策は？
4. 川や水辺ではけるズック靴を持参すると良い。深い所は気をつけて、川に入る準備が必要。
5. 広場には樹木がない。夏の清掃や利用のためにも植樹をして日陰をつくろう。
6. 今回のこのような試みから、一学級ぐらいの生徒が水辺を使えるのではないかな。
7. 缶・ビン・ペットボトル・その他、特にタバコの吸殻が多かった。草が枯れる季節には対策が必要。